

| | | | |
|-------|-------------------------------------|-------|----------|
| 授業科目名 | 特別支援教育論 | 科目コード | K1404P07 |
| 英文名 | Theory of Special Support Education | | |

| | |
|------|-----------|
| 科目区分 | 子どもの発達と環境 |
|------|-----------|

| | | | |
|-------|---------|-------|---------|
| 職名 | 准教授 | 担当教員名 | 河崎 美香 |
| 学部 | 子ども育成学部 | 学科 | 子ども育成学科 |
| 曜日 | 木曜日 | 時限 | 1限目 |
| 開講時期 | 4年前期 | 授業の方法 | 講義 |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 1単位 |

| | | | | |
|-------|--|--|--|--|
| 授業の概要 | <p>本講義は、幼稚園教諭及び小学校教員を目指す学生が、特別の支援を必要とする幼児・児童の障害を理解し、発達障害や軽度知的障害や身体的障害に対する理解を深める。学習や生活上の困難に関する知識を習得し、支援方法への理解を深める。また関係機関との連携の重要性も理解する。(担当教員：幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、特別支援教育コーディネーターとして幼保小中学校の巡回相談の実務経験あり)</p> | | | |
|-------|--|--|--|--|

| | | | | |
|-------|-------|------|-----------|----------|
| キーワード | 特別の支援 | 障害理解 | 実態把握に基づく支 | 関係機関との連携 |
|-------|-------|------|-----------|----------|

| | |
|------|--|
| 到達目標 | 特別支援教育に関する制度や理念を理解し、特別の支援を必要とする幼児・児童の障害等について理解することができる。(20%) |
| | 障害のある幼児・児童の実態に基づき、支援方法や環境構成等について理解することができる。(40%) |
| | 障害のある幼児の保育計画を作成し、個別支援及び他の幼児とのかかわりのなかでの実践について理解することができる。(20%) |
| | 障害のある幼児・児童の保護者への支援や関係機関との連携の現状や課題について理解することができる。(20%) |
| | |

卒業要件・資格関連等

| 卒業要件 | 幼稚園教諭 | 保育士 | 小学校教諭 | 社会福祉士 | スクール ソーシャルワーカー |
|------|-------|-----|-------|-------|-------------------|
| | | | | | |

| | |
|------------|-------------------------------|
| ディプロマポリシー | 教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上） |
| カリキュラムポリシー | 子どもの発達と相談支援 |

キー・コンピテンシー（重視する能力）

| コミュニケーション力 | 協働力 | 課題解決力 | 人間理解力 | 教育支援力 |
|------------|-----|-------|-------|-------|
| | | | | |

教授方法（授業方法）

| 知識教授型 | 対話型授業 | 演習・反復型授業 | グループ演習 | 地域フィールド・ワーク | 授業外学修指導・自主活動 |
|-------|-------|----------|--------|-------------|--------------|
| | | | | | |

授業計画

| 回数 | 授業内容 詳細 | 標準時間 |
|-----|---|------|
| 第1回 | オリエンテーション・講義の意図と講義計画 特別支援教育の理念と基本的な考え方、障害理解について | |
| | 【予習】テキスト第1章を読む | 90分 |
| | 【復習】授業内容を確認し、特別支援教育の理念と基本的な考え方、障害理解について整理する | 90分 |
| 第2回 | 特別支援教育の現行制度と支援システム、関係機関・医療機関との連携、家庭との連携 | |
| | 【予習】就学の仕組みについて調べておく | |
| | 【復習】授業内容を確認し、特別支援教育の現行制度について整理する | |
| 第3回 | インクルーシブ保育の考え方、保育カンファレンスと個別の指導計画、教育支援計画作成の意義と実際、幼小接続など | |
| | 【予習】インクルーシブ保育のメリット、デメリットについて調べておく | |
| | 【復習】授業内容を確認し、インクルーシブ保育について整理する | |
| 第4回 | LD、ADHDの理解と指導、支援 LD、ADHDの定義、幼児・児童の特性、学習・生活上の困難とその配慮点、指導・支援の実際 | |
| | 【予習】テキスト第7,8章を読む | |
| | 【復習】授業内容を確認し、LD、ADHDについて整理する | |
| 第5回 | 自閉症スペクトラムの理解と指導、支援 自閉症スペクトラムの定義と幼児・児童の特性、学習・生活上の困難とその配慮点、指導・支援の実際 | |
| | 【予習】テキスト第6章を読む | |
| | 【復習】授業内容を確認し、自閉症スペクトラムについて整理する | |
| 第6回 | 知的障害の理解と指導・支援 知的障害の定義、幼児・児童の特性、学習・生活上の困難とその配慮点、指導・支援の実際 | |
| | 【予習】テキスト第5章を読む | |
| | 【復習】授業内容を確認し、知的障害の理念と基本的な考え方について整理する | |
| 第7回 | 視覚障害、聴覚障害の理解と指導・支援 視覚障害、聴覚障害の定義、幼児・児童の特性、学習・生活上の困難とその配慮点、指導・支援の実際 | |
| | 【予習】テキスト第2、3章を読む | |
| | 【復習】視覚障害、聴覚障害について授業内容を確認し、整理する | |
| 第8回 | 肢体不自由教育、病弱教育、特別の教育的ニーズのある子どもの理解と指導・支援 肢体不自由、病弱のある幼児・児童の特性、学習・生活上の困難とその配慮点、指導・支援の実際 母国語や貧困の問題等の特別の教育的ニーズのある幼児・児童の学習・生活上の困難とその配慮点、支援の実際 | |
| | 【予習】テキスト第4章を読む | |
| | 【復習】本日学んだ特別の教育的ニーズのある子どもの理解と支援について確認し、整理する | |

| | | | |
|----------------|--|----------------|---------------|
| 評価方法 | 1. 全8回の取組み状況・授業内コメントシート(50%程度)、レポート(50%程度)とし、総合的に評価する。 2. 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 人間性：15 % 社会性：15 % 専門性：70 % | | |
| 使用資料 <テキスト> | 向後礼子・山本智子編著「学校現場にいかす 特別支援教育ワークブック-多様な子どもたち」 | 使用資料 <参考図書> | 講義の中で、適宜紹介する。 |
| 授業外学修等 | 新聞・TV報道等、特別支援教育に関する情報に関心をもつ。 課題やレポートについて学生の学びが深まるように適切なデータや資料を紹介する。 次回分のテキスト・資料の予習をしておくこと。 授業中に実施したワークシートについてはコメントを加えて受講者に返却する。 | | |
| 授業外質問方法 | 授業の前後やオフィスアワーに随時受け付ける。 | | |
| オフィス・アワー | 金曜10:50～12:20 河崎研究室(E302) | | |